

小児(98)黄耆建中湯



アトピー性皮膚炎に黄耆建中湯が有効だった1例

4歳の男児です。
数年前からアトピー性皮膚炎の診断で皮膚科通院中で、ジギリオンシロップ（抗アレルギー薬）を内服中です。お母さんもアトピー性皮膚炎ですが、現在は調子良いです（本人は治ったと言っています）。



主訴は、頭から足まで全身が痒い、です。
カラダが温まると痒みが増します。

昨年（平成27年）7月に当院を初診。

ジギリオンは体重相当から見ると、かなり低用量しか内服しておらず、当院で処方希望があったので、スプデルDS（古典的な抗A剤ですが）、黄耆建中湯（おうぎけんちゅうとう）を開始しました。

黄耆建中湯は、皮膚を強くする、汗のコントロールする、おなかから元気になる（腸内細菌の餌となる膠飴が入っている）等の理由から使いました。

1週間後再診。

症状は変わらない、黄耆建中湯は飲みにくいと言われたので、黄耆を抜いて小建中湯（しょうけんちゅうとう）に変更しました。

抗A剤をスプデルからアレロックに変更しました。

1ヶ月後再診。

小建中湯では汗をかかないので、再び黄耆建中湯に戻しました。

さらに漢方入浴剤を併用開始。

1ヶ月後再診。

「先生、カラダがキレイになってきました。黄耆建中湯で汗をかくようになりました」以後、現在まで1年間絶好調です。

先日も来院されましたが、皮膚は色素沈着のため多少黒っぽいですが、触るとツルツルしています。

本人さんも元気です。

当面飲んでおきたいです、という希望があり、不要と言われるまで続行予定です。

小児夜間急病センター当番日

5月10日(金) 19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院

大人(11)柴胡桂枝乾姜湯



パニック障害に柴胡桂枝乾姜湯が有効だった1例

25歳女性です。

昨年末頃から精神不安、動悸、ほてり、背部の張りが始まりました。岐阜県出身の方ですが、当時は県外でお仕事をされていました。今年に入ってからパニック障害を起こすようになり、精神科でリーゼを処方されていました。

時々リーゼを飲む程度でパニックは治まっていたそうです。

仕事が手につかなくなり、岐阜の実家に帰って来られました。

最近手足が冷える、不眠が続くなど新たな症状が出てきました。

4月上旬に当院初診。

食欲7-8/10、全身に冷えあり、のぼせる、首、肩、足が痛い、嫌な夢を見る、夜中に目が覚める、色々心配、不安になる、イライラする、..



とにかく手足が冷たい。

おなかのみぞおち、両側の肋骨付近の圧痛、

おへその周囲にも圧痛が目立ちます。

柴胡桂枝乾姜湯（さいこけいしかんきょうとう）と当帰四逆加呉茱萸生姜湯（とうきしぎやくかごしゅゆしょうきょうとう）をまず2週間お出ししました。

不安感がたまにある程度になった、カラダは漢方薬を飲んで1週間で温まったと。

さらに1ヶ月後再診。

「調子良くなりました！職を探しています」速いですね。

あまりの治りの速さにこちらがビックリです。

あと1ヶ月は漢方薬を飲んで、うまくいけば内服は終了できるかも。

この間は1日2回で飲んでみるそうです。

岐阜市の漢方外来 5月11日(土)、25日(土) 14:00-17:30

場所: 中島小児科(岐阜県岐阜市鍵屋東町2-1) この外来は『院外処方箋』となります。